

要点をとらえる

〔知識・技能〕

名前

解説

答

「知っておきたい用語」

段落…文章の中の、まとまりのある区切りをいう。
 形式段落(小段落)…意味段落(大段落)がある。
 文脈…文章中の文と文、または一文の中の語と語との続き具合や対応関係をいう。
 要点…形式段落、意味段落など、文章中のある部分の内容をまとめたものをいう。
 要旨…文章全体の中心的な内容・思想。筆者が文章を通して述べようとするものの中心をいう。
 要約…文章の中から重要な内容を選び出してまとめたもの。また、それをまとめることをいう。

知っておくと...

説明的文章を読んで内容をつかむ道すじが分かります!

やってみよう 解答と解説

一、の解答 四つ。

・始まりが一字下がつているところが四つの解答

第一段落	(例) 犬は散歩や走り回ることが大好きな動物だ。 段落の最後の文
第二段落	(例) 散歩は、犬にとって習性に従った大切な仕事でもある。 段落の最後の文
第三段落	(例) まったく散歩に行けないことは、犬にとつては大変な苦痛である。 段落の最後の文
第四段落	(例) 犬を飼うときには、その習性をよく知ることが必要である。 段落の最初の文

・文末表現は統一しておきましょう。
 ・中心文(中心部分)は初めか終わりに書かれていることが多いですよ。
 ・要点をまとめる手順
 形式段落の内容を丁寧に読み、中心部分と付加部分とを区別する。

中心部分 ちゅうしんぶぶん	段落の中で中心となる内容を述べる部分。特に話題の中心を示す一文を中心文という。
付加部分 ふかぶぶん	中心部分を補う部分。具体例、身近な見聞などの事実を用いて説明したりする。

中心部分にまとをしぼって、形式段落の要点をまとめる。中心文がある場合は、それを使ってまとめるよ。

三、の解答 三つ。

・二、の要点を参考に考えると、第二段落と第三段落はどちらも「犬にまつての散歩」について書いてありますね。
 ・段落間の関係を考えるときは、段落中の指示語や接続語がヒントをくれますよ!
 (例) 第三段落「そつした習性」は、第二段落で説明した内容を受けています。

〔練習〕使ってみよう!

映画館の人数が復活している。家庭用ビデオ機器等の急速な普及により、一時は映画館の数もずいぶん減った。しかし、最近では映画館のサービス向上の努力によって集客数を伸ばしている。

文に分けよう。「一文」中心部分と付加部分に分けよう。中心部分に、——線を引こう!
 中心部分のうち、中心文を見つけてで囲もう。(もともと一文の場合はそのまま)
 中心文を簡潔にまとめよう。

これがこの段落の要点です。

【解答】映画館の人数が復活している。